

平成 30 年 2 月部課長会（議事要旨）

1. 市長訓辞

平成 29 年 4 月部課長会に申し上げた、「管理職のみなさんに取り組んでほしいこと」5 つの事柄のうち、これまで 4 つのテーマについて各担当課より事例を発表いただいた。本日は最後のテーマとなる「より広く深い視点で行政を」について、青山社中(株)代表取締役 朝比奈氏にご講演いただく。

生駒市がこれから住宅都市として生き残っていけるかを考えた際に、農業や観光など住宅都市にプラスアルファする要素を考えなければならない。今後は、職員が 10 年後・20 年後の将来を見据えた業務が必要になってくる。

もう一つのテーマであるリーダーシップは、管理職だけでなく職員一人ひとりが持たなければならないもの。朝比奈氏の講演を聴いてぜひ実践にうつしていただきたい。

2. 講演（青山社中(株)朝比奈氏）

テーマ：リーダーシップと大局観の重要性 ～行政により広く深い視点を～

3. 質疑応答

①「構想力」について、現状と比較して 1.2 倍ほどの構想が必要とお話いただいたが、なぜ 1.2 倍なのか。

→2 倍、3 倍の構想を実現しようとする、現場が追い付かなくなってしまう。適度に理想を追い求め、かつ現実に即した構想が必要だからである。

②リーダーシップとマネジメント力の割合ならびに、組織力をどう高めていけばよいかについて教えていただきたい。

→リーダーシップとマネジメント力は、割合で区別して考えるのではなく、両方兼ね備える必要があり、それぞれ別の概念で考えるべきである。日本人は上司と部下の関係性に表れているように、今でも十分マネジメント力は高い。その反面、リーダーシップは不足している部分があるので、今後学ぶ必要がある。

4. まとめ

(副市長)

リーダーは特別なものではなく、誰でもなれるものである。また、リーダーシップは誰もが持つ必要があると感じた。本日の講義が、管理職が持つべきリーダーシップの指針となるだろう。今後管理職の皆様には、講義の内容を普段の業務

に活かせるように取り組んでいただきたい。

(市長)

私が普段から感じていることを分かりやすく講義していただいた。構想力については、人によって 1.2 倍だったり 1.5 倍だったりと感じ方が違うのはリーダーシップの難しさであるが、それは議論を重ねて乗り越えていかなければならないだろう。また、リーダーシップは管理職のみならず、全職員が備える必要があるので、本日の講義内容を課員にも伝えていただきたい。